

登場人物

矢野博一

博士

矢野「ああ、最近本当に思うんですよ、「おしっこにまつわる夢」がみたいと。」

博士「ならこちらはいかがですか？」

博士が見せたのは女性の「大事なあの部分」の形をしたシリコン製の物体だった。

矢野「何ですか？」

博士「これは「ニョードリマー」という魔法の寝具でございます。これを枕元に置いて寝るとこの「あの部分」を模した部分から特殊な電波が出て「おしっこにまつわる夢」を見やすくなります。電波を出すものなので充電は欠かさずに。まあ確実に見れるというわけではありませんがほぼほぼ見られるのでご安心を。」

矢野「うわあ、僕が欲しかったもの、まさに求めていたものです。」

博士「喜んでもらえて光栄です。」

矢野「お値段おいくらですか？」

博士「通常価格10万円のところ今回は特別に半額の5万円でお売りいたします。」

矢野「ありがとうございます。」

そしてその日の夜、さっそくそれを使ってみることにした。

矢野「おやすみなさい。」

彼は夢の中で……。

JK「ねえ、私のおしっこ、飲んで。」

矢野「え！？いいの！？」

おためしはここまで